

平成21年度

田舎で働き隊！事業実績（概要）

平成22年11月

農林水産省

農村振興局 都市農村交流課

「**田舎**で働き隊！」事業(農村活性化人材育成派遣支援モデル事業)は、農村地域の活性化を担う人材の確保・育成を安定的に支える仕組みの構築に向け、都市と農村地域をつなぎ、**農村地域における都市部の人材の活用等に取り組むコーディネート機関(事業実施主体)に対し支援**を行う事業です。

事業実施規模

	コーディネート機関	研修人数	受入地区
事業実施	37	291	42都道府県 142市町村

(H21予算：11機関、H21補正：31機関で実施。5機関が重複採択)

事業実施主体：37団体

NPO法人	18	営利法人	13
学校法人	1	任意団体	2
観光協会	1	公益法人	2

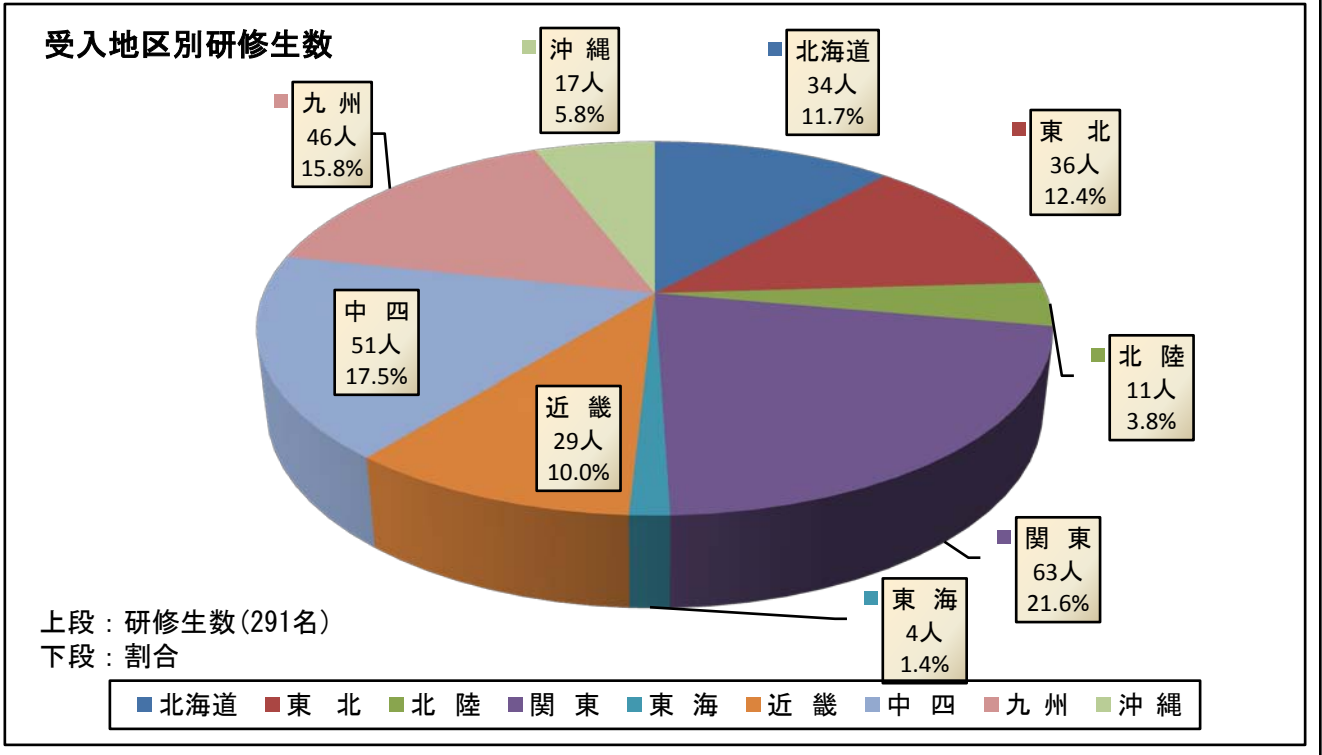
・実施主体地区別内訳

各地区及び各種団体別の事業実施主体は下記のとおりであった。

地区／団体	NPO法人	営利法人	学校法人	任意団体	観光協会	公益法人	計
北海道	1	2					3
東北	2	2		1			5
関東	10	6				2	18
東海							0
北陸							0
近畿	3	2	1				6
中四国	1				1		2
九州	1	1		1			3
計	18	13	1	2	1	2	37

地区別及び都道府県の実績

37の実施主体が研修生の募集を行い、受入地区(農村地域)での実践研修を行った結果、関東地区で最も研修生数が多い。(研修生数291名)
 また、各地区の受入研修生数は下記のとおりであり、ほぼ全国的に展開されている。



全国で農村地域が多い北海道や長野県で研修生数が多く、千葉県、静岡県及び奈良県など大都市近郊圏においても多い傾向にある。
 全研修生291名の受入地区が存する県は下記のとおり。

派遣先	研修生数	派遣先	研修生数	派遣先	研修生数	派遣先	研修生数
北海道	34	東京都	2	滋賀県	2	香川県	14
青森県	0	神奈川県	2	京都府	6	愛媛県	4
岩手県	7	山梨県	4	大阪府	0	高知県	3
宮城県	16	長野県	14	兵庫県	5	福岡県	8
秋田県	1	新潟県	7	奈良県	10	佐賀県	2
山形県	2	富山県	0	和歌山県	6	長崎県	12
福島県	10	石川県	2	鳥取県	4	熊本県	6
茨城県	1	福井県	2	島根県	14	大分県	5
栃木県	1	岐阜県	2	岡山県	2	宮崎県	9
群馬県	2	静岡県	18	広島県	0	鹿児島県	4
埼玉県	1	愛知県	0	山口県	8	沖縄県	17
千葉県	18	三重県	2	徳島県	2	計	291

研修人材の属性と傾向

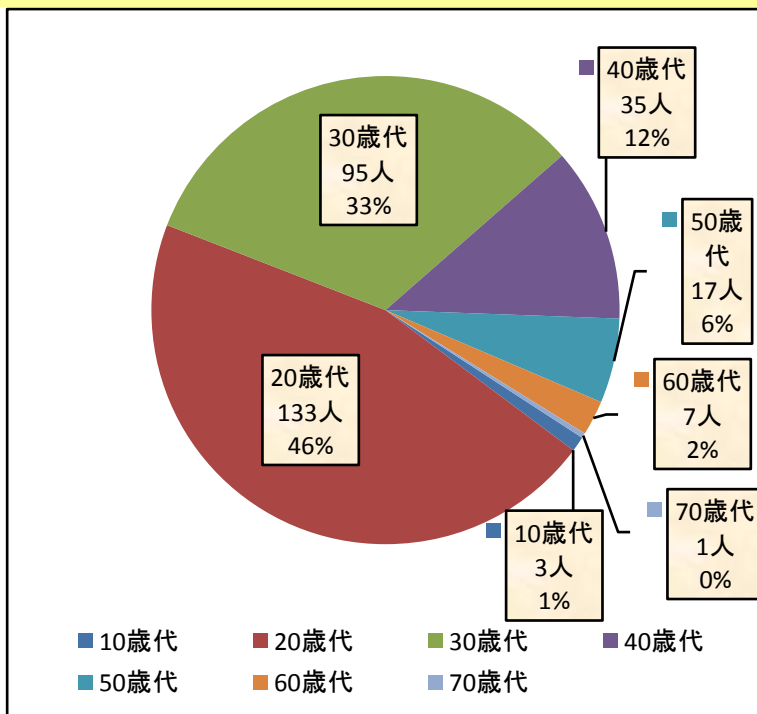
「田舎で働き隊！」事業に参加した研修人材について、各事業実施主体へのアンケート調査を実施。37団体から291人に関する回答が得られた。(回答率100%) (アンケート実施時期：H22.6)

研修人材の年齢別構成を見ると、20歳代が最も多く20歳代以下において全体の8割を占めた。

また、研修生の平均年齢は32.9歳であった。

・年齢構成

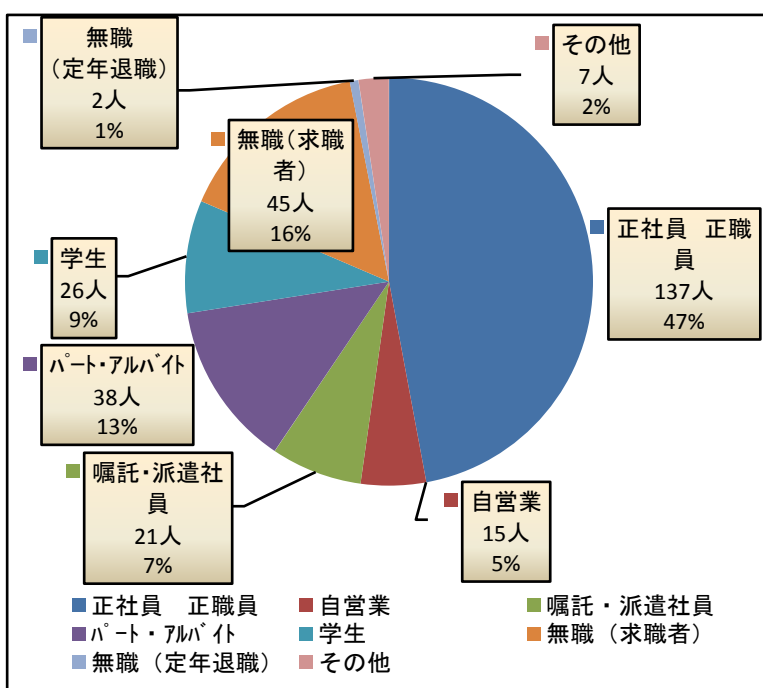
区分	研修生数	割合
10歳代	3	1.0%
20歳代	133	45.7%
30歳代	95	32.6%
40歳代	35	12.0%
50歳代	17	5.8%
60歳代	7	2.4%
70歳代	1	0.3%
計	291	100.0%
男性	194	66.7%
女性	97	33.3%
平均年齢	32.9歳	



研修人材の職業別構成を見ると、正社員・正職員が最も多く無職(求職者)の3倍であった。また、自営業者と併せて定職を持つ者が過半数を超える状況であった。

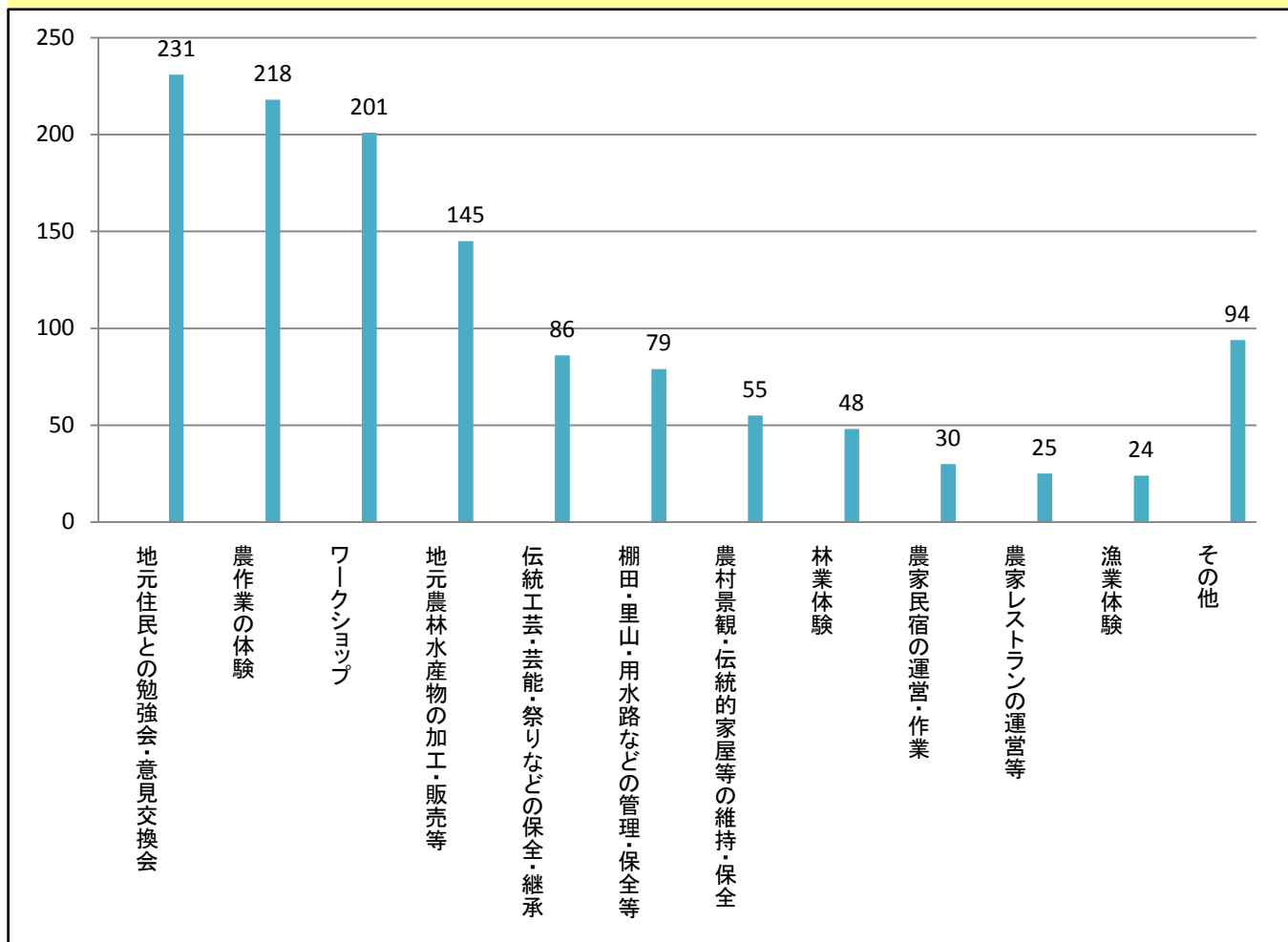
・職業別構成

区分	研修生数
正社員・正職員	137
自営業	15
属託・派遣社員	21
パート・アルバイト	38
学生	26
無職(求職)	45
無職(定年退職)	2
その他	7
計	291



研修の期間・内容

実践研修については、一つの研修において複数のプログラムを行っているが、そのうち地元住民との勉強会・意見交換会が最も多く、農業体験、ワークショップが続いて多い研修となっている。



※研修プログラムは複数回答（全体延べ回答数1,236）

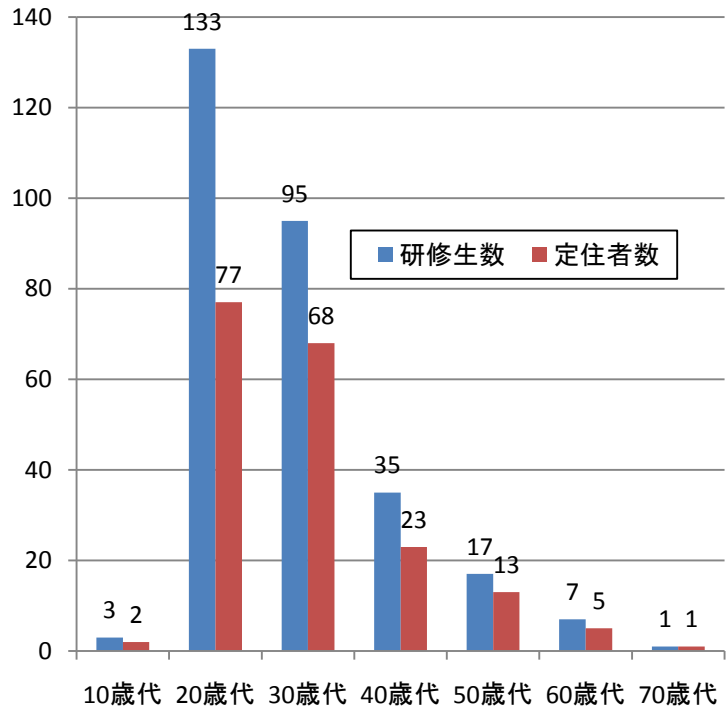
研修後の進路

本事業の終了後、農山漁村への定住を決めた者（定住者）について、各事業実施主体の把握状況を確認したところ、研修生291名のうち189名（64.9%）が受入地区に定住することとなった。

なお、年齢構成別の定住率は50歳代、30歳代及び60歳代が高い傾向にあり、研修生として参加が最も多い20歳代についても57.9%であった。

・定住者の年齢構成

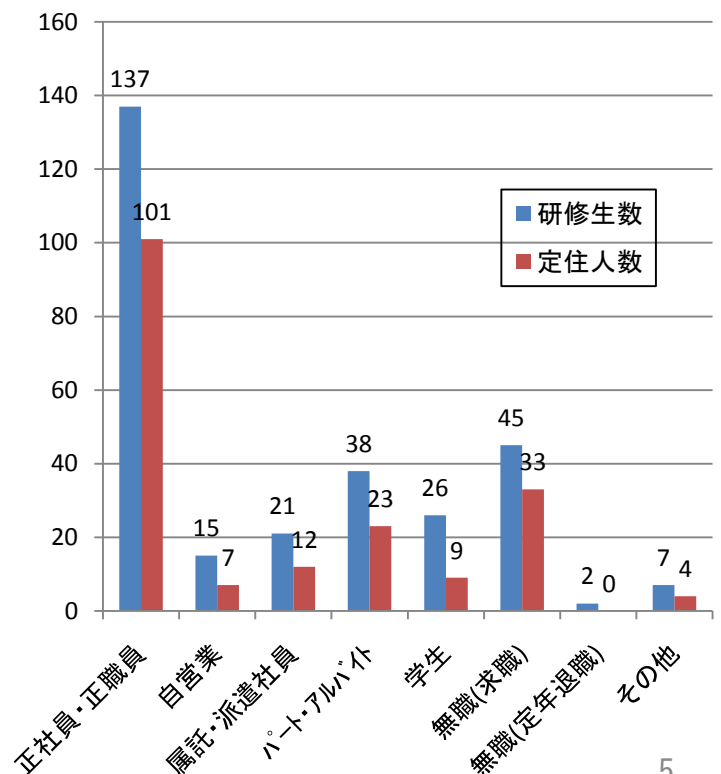
区分	研修生	定住者	年齢区分別定住率
10歳代	3	2	66.7%
20歳代	133	77	57.9%
30歳代	95	68	71.6%
40歳代	35	23	65.7%
50歳代	17	13	76.5%
60歳代	7	5	71.4%
70歳代	1	1	100.0%
計	291	189	64.9%



更に、定住者(189名)の研修直近の職業構成は、正社員・職員が過半数を超え、次に無職(求職)者、パート・アルバイトの順であった。

・定住者の研修直近の職業分布

区分	研修生数	定住人数	職業別定住率
正社員・正職員	137	101	73.7%
自営業	15	7	46.7%
属託・派遣社員	21	12	57.1%
パート・アルバイト	38	23	60.5%
学生	26	9	34.6%
無職(求職)	45	33	73.3%
無職(定年退職)	2	0	0.0%
その他	7	4	57.1%
計	291	189	64.9%



研修後の定住者の就労については、受入地の企業や公務員等への就労が多く、農業生産法人やNPO法人への就農・就労も多い。

・ 研修後の就労構成

区分	研修生数
就農	59
農業生産法人、NPOで 就農、就労	37
企業、公務員に就労	77
無職(求職、起業準備)	16
計	189

